

## 志賀原子力発電所 2号機 ハフニウムフラットチューブ型制御棒のひびについて

原子力安全・保安院からの指示文書<sup>1</sup>に基づき、志賀原子力発電所 2号機で使用していたハフニウムフラットチューブ型制御棒 25本のひびの有無について確認したところ、1本の制御棒のシース<sup>2</sup>と11本の制御棒のハンドルガイドローラ<sup>3</sup>部にひびを確認しました。

これらのひびは従来から制御棒の使用に伴って発生する可能性があることが知られており、制御棒の健全性に影響を与えるものではありません。

なお、志賀原子力発電所 2号機の全ての同型制御棒について、ボロンカーバイド型制御棒に交換しました。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

### 1 原子力安全・保安院からの指示文書

制御棒のひびに関する対応について（指示）(22 原企課第 110 号)

### 2 シース

中性子吸収材であるハフニウムが入った部材を包んでいるもの。

### 3 ハンドルガイドローラ

制御棒が燃料集合体の中で円滑に動くようにするために取付けられているもの。

